

平成24年度に建設工事で発生した事故事例（工具・資材による事故）

事故概要:

作業員が既設伸縮装置のコンクリート部分のはつり作業中、ブレーカーの先端にある金属ノミ部分が跳ね、作業員自身の右足を突いて負傷した。

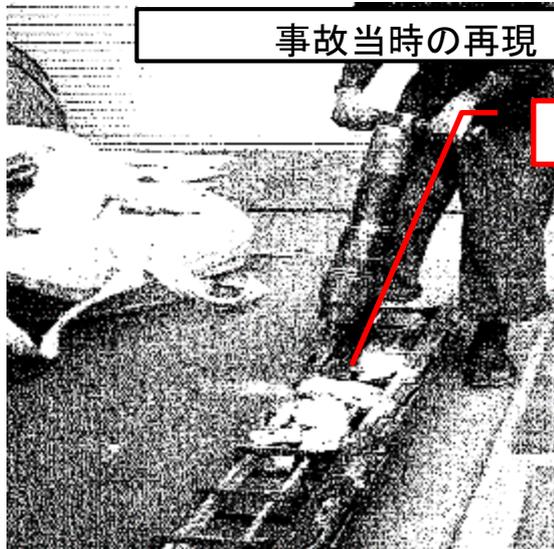
事故原因:

- ・金属部にブレーカー先端が当たった場合の跳躍の想定をしていなかった
- ・作業時の保護具が不十分だった

改善対策:

- ・安全教育の徹底
- ・保護具の装着を徹底（鋼プロテクター付き安全靴）

事故当時の再現



金属部にあたり跳躍



跳躍し右足に接触

鉄板入り地下足袋



分類: 橋梁工、伸縮装置撤去

被害状況: 約2週間の通院加療(右足右第Ⅲ指打撲挫創)

平成25年度に建設工事で発生した事故事例（工具・資材による事故）

事故概要：

橋梁橋脚に設置されている伸縮装置を撤去する際、床版と伸縮装置の連結鉄筋が分離していることを確認していたが、4tユニックで吊り上げた際、撤去部材が引っ掛かり、これを外そうと作業員が近づいたところ突然引っ掛かりが外れ、作業員の左頬にあたり負傷した。

事故原因：

縁切りが確実になるまで人力吊りすべきところを始めから機械吊りとした。

改善対策：

・チェンブロックによる人力作業を徹底する。

被災者



再現状況

4tユニックオペレーター



連結鉄筋の縁切りが不十分であり、引っかかってしまった

伸縮装置撤去状況

分類：橋梁工、伸縮装置撤去

被害状況：約2週間の加療（頭部外傷、左頬骨骨折、顔面挫滅創）